

経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県佐賀市 佐賀市立富士大和温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
226,481	8,392	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

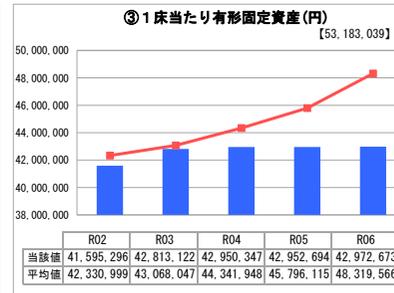
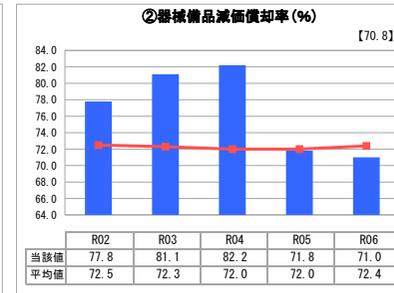
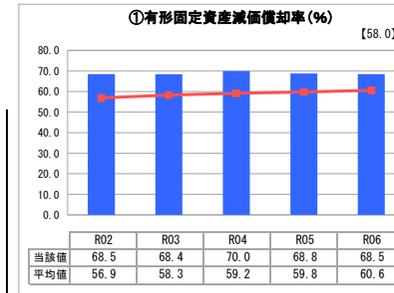
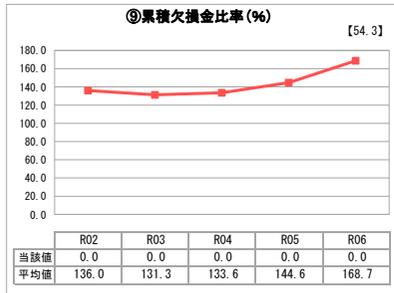
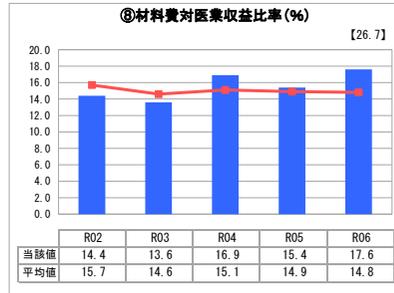
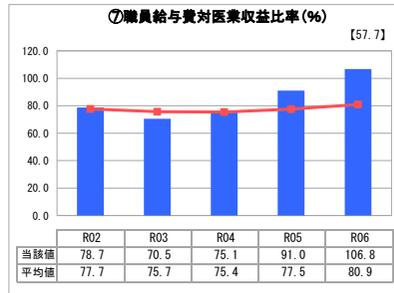
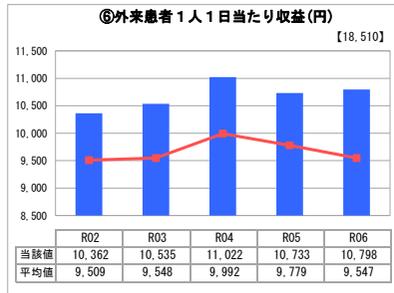
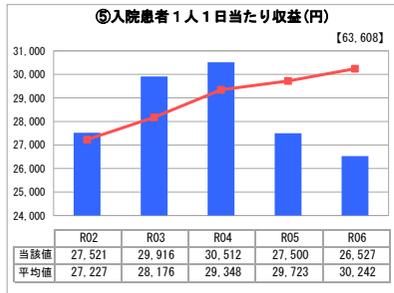
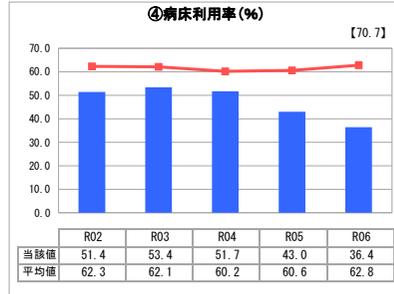
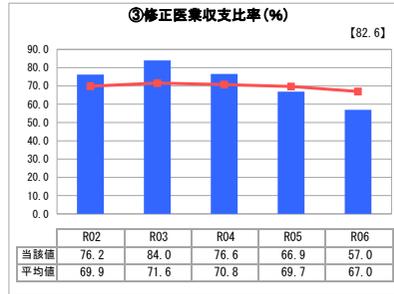
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	38	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
42	9	51

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の縦割・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

不採算地区である過疎地において医療を提供するとともに、救急告示病院及び病院群輪番制病院としての近隣地域における休日・夜間等の救急医療の機能維持を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収益は、6年度も入院・外来ともに患者数が減少したことで、当初の見込んだ収益に届かず、また補助金等も減額となったため、収入全体で大きな減収となったことで、経常収支率は5年度に引き続き100%を大きく下回った。

職員給与費の対医業収益比率が100%を超えており、今後も増加傾向であることから、経営への影響が懸念される。病床利用率は低下傾向が続いているため、紹介入院患者や救急搬送患者を積極的に受け入れることで健全経営の柱となるの医業収益の増加に努めたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は建物附属設備等の減価償却進捗に伴い類似病院平均より高い状態になっているが、器械備品減価償却率については令和6年度も大規模投資（保冷加熱カートシステム更新等）を実施したため数値が低下した。

今後も毎年実施している診療用等の医療器械の更新状況調査により、更新が必要となる時期を把握し、計画的な更新に努めたい。

全体総括

地域の自治体病院としての役割を果たす一方で、日常診療圏内の人口減少に伴う患者数の減少等や職員給与の増加や物価高騰による経費の増加の影響により、経営は厳しい状況となっている。地域医療の拠点たる役割、機能を堅持しつつ、公立病院としての役割を果たすために、引き続き患者数の増加など収益改善に向けた対策や経費の削減に取り組むとともに、健康講話の開催や地域行事への参加等、地域との信頼関係の更なる構築を深めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。